

表3. 高等学校、大学在学者数と男女比率の推移

年 度	高 等 学 校			短 期 大 学			大 学		
	在学者総数	男 女 比 率		在学者総数	男 女 比 率		在学者総数	男 女 比 率	
		男	女		男	女		男	女
1950	1,935,113	62.1%	37.9%		61.1%	38.9%		92.3%	7.7%
1955	2,592,001	57.7	42.3	760,25	46.0	54.0		87.6	12.4
1960	3,239,416	54.2	45.8	815,28	32.5	67.5	601,464	86.3	13.7
1965	5,073,882	52.5	47.5	1,454,58	25.2	74.8	895,465	83.8	16.2
1970	4,231,542	50.9	49.1	2,597,47	17.3	82.7	1,344,358	82.0	18.0
1975	4,332,716	50.4	49.6	3,489,22	13.8	86.2	1,652,003	78.8	21.2

文部省「学校基本調査」

表4. 大学院在学者数と男女比率の推移

年 度	課 程	在 学 者 数			男 女 比 率	
		総 数	男	女	男	女
1960	修 士	8,305	7,571	734	92.4%	7.6%
	博 士	7,429	7,050	379	94.9	5.1
	計	15,734	14,621	1,113	92.9	7.1
1965	修 士	16,771	15,314	1,457	91.3	8.7
	博 士	11,683	10,997	686	94.2	5.8
	計	28,454	26,311	2,143	92.5	7.5
1970	修 士	27,714	25,022	2,692	90.3	9.7
	博 士	13,243	12,359	884	93.3	6.7
	計	40,957	37,381	3,576	91.3	8.7
1975	修 士	33,560	30,062	3,498	89.6	10.4
	博 士	14,904	13,855	1,049	91.0	9.0
	計	48,464	43,917	4,547	90.6	9.4

文部省「学校基本調査」

高等学校生徒の男女比率は1970年代にはほぼ半々に達している。

大学在学者は1975年で、大学・短期大学合わせてなお31.7%であり、大学のみでは、21.2%で、ソ連が50%、アメリカ、フランスが約45%、イギリス、西ドイツが約32%であるのに比べて低い。しかし、現在の率で増加すれば今後10年間にはほぼ25%に達すると思われる。

大学院在学の女子院生数は過去15年間に約4倍に、うち博士課程在学者数は3倍弱に増大し、全体に占める女子の比率も漸増している。

かつ、修士及び博士課程に占める女子の比率は年とともに接近し、博士課程に進学する数が増している。今後、10年間に大学院在学者中の女子院生の比率は12~13%に、博士課程では11~12%になろう。